

平成30年泉北水道企業団議会第1回定例会会議録

平成30年2月6日（火）午前10時 泉北水道企業団議会第1回定例会を泉北水道企業団信太山事務所に招集した。

1. 出席議員は次のとおりである。

1番	大塚	英一	2番	堀口	陽一
3番	林	哲二	5番	貫野	幸治郎
6番	森下	巖	7番	大浦	まさし
8番	小野林	治三夫	9番	関戸	繁樹
10番	服部	敏男	11番	遠藤	隆志
12番	二瓶	貴博	13番	山敷	恵
14番	木戸	晃	15番	久保田	和典
16番	清水	明治			

1. 欠席議員は次のとおりである。

なし

1. 本日の議事日程は次のとおりである。

日程第1	会議録署名議員の指名について
日程第2	会期の決定について
日程第3	監査報告第1号 例月出納検査の結果について（9月分）
日程第4	監査報告第2号 例月出納検査の結果について（10月分）
日程第5	監査報告第3号 例月出納検査の結果について（11月分）
日程第6	議案第1号 平成30年度泉北水道企業団水道事業会計予算について
日程第7	議案第2号 監査委員の選任について

1. 地方自治法第121条の規定により本会議に出席を求め出席した者は次のとおりである。

企 業 長	辻 宏康	副 企 業 長	南出 賢一
副 企 業 長	阪口 伸六	監 査 委 員	原口 裕見
和泉市上下水道部長	森下 幸彦	泉大津市都市政策部長	丸山 理佳
高石市土木部長	藤原 通晃		
泉北水道企業団 水道事業所長	高藤 易元	泉北水道企業団 水道事業所次長	山口 和久
泉北水道企業団 水道事業所次長 兼 庶務課長	中川 尚	泉北水道企業団 浄配水課長	山田 佳彦
泉北水道企業団 庶務課長補佐	岩田 伴江	泉北水道企業団 浄配水課長補佐	山口 忠賜

1. 本会の事務局長及び職員は次のとおりである。

泉北水道企業団 水道事業所次長	山口 和久	泉北水道企業団 水道事業所次長 兼 庶務課長	中川 尚
--------------------	-------	------------------------------	------

平成30年2月6日（火）午前10時開会

○議長（小野林治三夫君） 皆さんおはようございます。

たいへん長らくお待たせいたしました。

本日は、公私何かと御多用のところ、早朝より本会議に御出席いただき誠にありがとうございます。

それでは、事務局より本日の出席議員について報告をいたさせます。

○水道事業所次長（山口和久君） 次長の山口でございます。

御報告申し上げます。本日の出席議員数は全員出席の15名でございます。

以上でございます。

○議長（小野林治三夫君） ただいまの報告どおり出席議員数15名をもちまして、会議が成立しておりますので、これより平成30年泉北水道企業団議会第1回定例会を開会いたします。

会議に先立ちまして、企業長より開会にあたりましての挨拶の申し出がございますので、これを許可することにいたします。

○企業長（辻宏康君） 皆様おはようございます。議長のお許しをいただきまして、開会にあたりまして一言御挨拶を申し上げます。

本日、ここに、平成30年泉北水道企業団議会第1回定例会の招集をお願い申し上げましたところ、議員の皆様方におかれましては、御出席を賜りまして厚くお礼を申し上げます。

また、平素は泉北水道企業団の運営につきまして御支援、御協力賜っておりますことを重ねてお礼を申し上げます。

なお、本日の定例会に御提案申し上げております諸議案につきましては、例月出納検査の結果報告と平成30年度予算及び監査委員の選任についてでございます。

いずれの案件につきましても慎重御審議をいただきまして、御可決、御承認を賜りますようよろしくお願いを申し上げまして、甚だ簡単ではございますが、開会にあたりましての挨拶とさせていただきます。

よろしくお願いをいたします。

○議長（小野林治三夫君） 企業長の挨拶が終わりました。

それでは、ただいまより会議に入らせていただきます。

本日の議事日程についてでございますが、あらかじめ議会運営委員会の御内意をいただいておりますので、お手元の日程により議事を進めてまいりたいと存じますが、これに御異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

○議長（小野林治三夫君） 御異議なしのお声がございますので、お手元の日程どおり議事に入らせていただきます。

それでは、議事日程に従いまして、日程第1会議録署名議員の指名についてを議題といたしたいと存じます。

指名につきましては、会議規則第102条の規定によりまして、本日の会議録署名議員を私より御指名申し上げます。

13番、山敷 恵議員、14番、木戸 晃議員、以上の両名にお願いいたします。

それでは、日程第2会期の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期につきましては、本日1日と定めたいと存じますが、これに御異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

○議長（小野林治三夫君） 御異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期につきましては、本日1日と定めることに決定いたしました。

次に、日程第3監査報告第1号例月出納検査の結果についてより、日程第5監査報告第3号例月出納検査の結果についての3議案はそれぞれ関連がございますので一括議題といたします。

本件につきましては、すでに議員各位に御送付申し上げますとおり、平成29年9月分から平成29年11月分の各月末現在の現金出納状況等の結果報告でございます。

つきましては、お目通し願っておることと存じますので、何か御質問等ございませんか。

（なしの声あり）

○議長（小野林治三夫君） ないようでございますので、本件につきましては、これをもちまして終わらせていただきます。

続きまして、日程第6議案第1号平成30年度泉北水道企業団水道事業会計予算についてを議題といたします。

理事者より提案説明を願います。

○水道事業所長（高藤易元） 所長の高藤でございます。

ただいま、御上程いただきました議案第1号平成30年度泉北水道企業団水道事業会計予算について、御説明申し上げます。

予算書の1ページをお願いいたします。第2条、業務の予定量でございますが、受水市と協議をおこないまして、年間総給水量590万 m^3 、1日平均給水量1万6,164 m^3 を予定いたしております。

次に第3条、収益的収入及び支出でございます、収入につきましては、第1款、水道事業収益3億6,559万5,000円を計上いたしております。この内訳でございますが、第1項、営業収益で給水収益3億6,447万9,000円、第2項、営業外収益で(株)KDDIの携帯電話基地局設置による、土地賃貸料等で111万6,000円でございます。

次に支出でございます、第1款、水道事業費用、3億6,226万1,000円を計上いたしております。この内訳といたしまして、第1項、営業費用として受水費に係る原水費、浄水及び送配水費、総係費、議会費及び減価償却費等で3億5,355万4,000円、第2項、営業外費用として消費税等で860万7,000円、第3項、予備費で10万円を計上いたしております。

2ページに移りまして、第4条、資本的収入及び支出でございます、収入の第1款、資本的収入につきましてはございません。支出では、第1款、資本的支出2,160万円を計上しております。

これは、水道施設の固定資産購入のための営業設備費でございます。

次に第5条では、一時借入金の限度額を2,000万円と定め、第6条では、各経費の流用事項について、3ページに移りまして、第7条で議会の議決事項を必要とする流用事項を定めているもので職員の給与費1億472万3,000円及び交際費2万円でございます。

次に第8条では、たな卸資産の購入限度額を354万3,000円と定めるものでございます。

以上が平成30年度泉北水道企業団、水道事業会計予算の概要でございます。

なお、詳細につきましては、4ページ以降に予算実施計画書及び予定キャッシュフロー計算書ほか各資料を貼付しておりますので、御参照いただき、よろしく御審議のうえ、原案どおり御可決賜りますよう、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○議長（小野林治三夫君） 説明が終わりました。これより質疑に入ります。

質疑はございませんか。

はい、山敷議員。

○13番（山敷恵君） おはようございます。山敷でございます。

それでは、ただ今の御説明にありました、平成30年度予算について質問をさせていただきます。

今の御説明の中では、資本的支出の中の建設改良費、これは、固定資産の購入のためと、今、所長の方から御説明がございました。これに関してですね、予算書の35ページを拝見いたしますと、昨年度との比較が出ています、この昨年度との比較を拝見すると、同じ建設改良費の中で改良工事費が改減になってゼロになっていて、営業設備費が増額となっていると思うんですけども、この、建設改良費の項について、ちょっと具体的な御説明をお願いいたします。

○議長（小野林治三夫君） はい、どうぞ。

○水道事業所次長兼庶務課長（中川尚君） 次長兼庶務課長の中川でございます。

ただ今の御質問の答弁でございますが、建設改良費の改良工事費に要する工事費等として平成29年度で、改良工事費として計上いたしておりました費用を、企業会計システムの改修を行った際に内容の精査等を行いまして見直しを行った結果、平成29年度に計上いたしておりました取水ポンプの取り換え工事は、施設、構築物のような新設、大幅な改修等ではなく、ポンプ及びモーター等の機械及び装置の交換になり工事費等を伴うものではないことから、固定資産の購入というかたちで、営業設備費に計上したものでございます。

以上でございます。

○議長（小野林治三夫君） はい、山敷議員。

○13番（山敷恵君） そしたら、同じ内容のものだけど、項の目（モク）を変えたということかと思うんですけれども、結局、この去年の計上されている予算で、そういう工事というか取替とかは行われなかったということですよ。

行われずに、今回、また新たに予算として計上されている、だから、去年の計上と今回の計上は、同じものを計上されているという理解で良いんでしょうか。

去年は結局、やると言っていた工事はやらなかったというようなことなんですよ。

○議長（小野林治三夫君） はい。

○水道事業所次長兼庶務課長（中川尚君） 次長兼庶務課長の中川でございます。

今、山敷議員さんが仰られた通り、計上が変わっただけで、工事等は行う予定でございます。

以上でございます。

○議長（小野林治三夫君） はい、山敷議員。

○13番（山敷恵君） 事前に伺っていたところ、同じものを、予算の目（モク）を変えたということと、昨年度、要するに今ですよ、29年度は計上していたけれども、予定していたポンプの取り替えとかを行われなかったの、改めて30年度予算に計上されたというふうに伺っています。

そして、そのポンプというのは、かなり耐用年数を、5台お持ちのポンプが耐用年数15・6年という物を、既に経過をしているということも聞いています。

非常に心配するのは、大丈夫なのかなということなんですけれども、もつのかなということなんですけれども、それも伺うと、一応、平成22年度に年次計画を策定されて、順序良く、ポンプを取り替えたりはされておられると、ただ、

色々、泉北水道企業団の今後のこともあって、色々様子を見ながら改修をされているというように伺っていますけれども、一応、整備計画、年次計画に基づいての、この予算の計上というふうに理解しておいて良いのでしょうか。

○議長（小野林治三夫君） はい。

○水道事業所次長（山口和久君） 次長の山口でございます。
その通りでございます。

○議長（小野林治三夫君） はい、山敷議員。

○13番（山敷恵君） 年次計画と、それと先ほどから申し上げている泉北水道企業団の今後のことも含めてということだと思えるんですけども、広域化ということも考慮した予算となっているものというふうに拝察するんですけども、ここでちょっと広域化についての質問もさせていただきたいと思うんですけども、議長、続けて質問させていただいてもよろしいでしょうか。

○議長（小野林治三夫君） ただ今、山敷議員の質問の申し出がございましたが、本件につきましては、あらかじめ議会運営委員会の御内意をいただいておりますので、許可をいたします。
どうぞ。

○13番（山敷恵君） 御許可をいただきまして、ありがとうございます。
先ほど来申し上げてる建設改良費についても含めまして、本予算もすべて、広域化も御検討の上の予算というふうに拝察をいたすところでございます。

昨年10月31日に開催された、第2回の定例会の中でも申し上げたんですけども、泉北水道企業団は平成25年から27年の3カ年にわたって、『水道事業の広域化に関する計画策定業務』というのをコンサルに委託されて、平成28年3月に成果物を受けておられます。

それを、情報公開の条例が、その議会で申し上げたとおり、泉北水道、持っておられないので、母市のほう、高石市で請求しましたところ、このように全部、公開をされました。

カラーの資料も多かったということで1万3,470円掛かったんですけども、全部で300枚強の物が、今、各市と泉北水道企業団のほうにある。ということでございます。

それと含めまして、昨年12月に公開されたんですけど、同じく12月に、これは全議員のところに、担当者の方まわられて、『泉北水道企業団用水供給事業の継続に関する経緯』という、書いた物を持ってまわられて御説明があったと思います。

それを全部拝見すると、平成32年には統合される方向で、泉北水道協議会の中での議論が進んでおられると。そして、今の協議の中身は、3市を水平統合したうえで、大阪広域水道企業団とも連携する。という方向というふうに、私

は読み取りました。

そして、今申し上げた、この300枚強の資料の中には、5つのパターンというのが例示されていまして、事業費の算定と、浄水単価の上昇額というものも試算として出されています。

私自身の考えは、泉北水道企業団、この浄水池も含めましてですね、災害時の二次水源の確保という意味では必要な施設だとは思っているんですが、これは費用対効果等、各市の事情が全然、利害がまったく一致するわけではないということも承知しておりますし、難しい問題かなと思うんです。

ただ、一方ではですね、今年、平成30年度に協定書を締結するという文言も、この資料の中にはあるんです。

しかし、この泉北水道企業団議会の議員には正式な場での説明というのは、なんら行われていません。

普通にいくと、次の議会は10月という事になってしまっていて、このスケジュール通りいくと、ひょっとしたら協定書が締結されてしまうのではないかと、30年ということに、一応スケジュールはなっておりましたので。

というようなことを危惧するものであります。

そこで質問なんですけれども、前回の議会でも申し上げたんですけれども、議会への説明というものが、なぜ行われなかったかという事なのですが、前回の、平成20年から22年にかけて、2年でコンサル委託した際には、平成23年2月の定例会で、抜粋資料を提出して、報告事項として質疑応答も行われています。これは議事録でも確認をしました。

今回は、なぜそれが行われなかったのかについてをお尋ねいたします。

○議長（小野林治三夫君） はい、答弁。

○水道事業所次長（山口和久君） 次長の山口でございます。

水道事業の広域化に関する業務委託につきましては、平成23年4月の『広域化に関する調査』において示された関係3市の水道事業及び泉北水道企業団の広域化に関する4事業体の現状分析及び水道広域化の基礎的調査を行い、今後の4事業体が広域化を行った場合の効果を経営シミュレーションなどにより確認し、その結果を議会に報告いたしました。

また、平成28年に行った『広域化に関する計画策定業務』につきましては、前回に引き続き広域化に関する段階的な取り組みについて、追加検討を進めるとともに大阪広域水道企業団との連携も加えて再検討するとともに平成28年度以降の取り組みについての課題整理を行うものでありますが、検討内容に大きく進展した項目等がないことから、今まで議会への報告を行っていないのが現状であります。

このようなことから、昨年12月に『泉北水道用水供給事業に関する経緯』ということで、泉北水道の派遣議員の皆様にも説明をさせていただきました。

今後につきましては、広域化の検討協議に進展があった時には議会に報告を行ってまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（小野林治三夫君） はい、山敷議員。

○13番（山敷恵君） もう、十分に進展してると思います。

そして、このコンサルの委託料なんですけども、これは、いくら掛かったか教えていただいていたいいですか。

○議長（小野林治三夫君） はい。

○水道事業所次長（山口和久君） 次長の山口でございます。

コンサルの委託料につきましては、税込み2,052万円となっております。以上でございます。

○議長（小野林治三夫君） はい、山敷議員。

○13番（山敷恵君） 税込みで2,052万円、これは3年分、この成果物を得るための、ということかと思うんですけども、かなりの金額を費やして、成果物を得られた。そして、今の御答弁では、検討協議に進展があった時には議会に報告をしてくださる、というような事かと思えます。

最後、要望だけしておきたいと思えます。

特に、企業長、副企業長の皆様には協議会で十分に色んな検討して下さっているということが、この資料からも読み取れるんですけども、これは私ども議会にも御説明をいただいて、経過ですね、経過の御説明をいただいた中で、議会の意見、いわゆる市民の意見ということになるかと思えますけれども、それも十分に聞いていただきまして、できましたら、次の議会を待つ、というのではなく、議会への御説明の機会を是非、資料も添付されたうえで、いただきまして、私どもの質疑もお受けいただきまして、それも参考にしたうえで、次のことを決めていただきたい。というふうなことを考えております。

これは前回の議会に続いての要望となりますので、企業長をはじめ、副企業長、そして理事者の皆様には、是非とも御検討いただきたい、ということ強く申しあげまして、質問を終わらせていただきます。

ありがとうございました。

○議長（小野林治三夫君） 他に質疑ございませんか。

（なしの声あり）

○議長（小野林治三夫君） 質疑ないようでございますので、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

討論ある方は挙手をお願いいたします。

(挙手するものなし)

○議長(小野林治三夫君) 討論なしと認め、これを終わります。

これより採決いたします。本件について原案どおり可決することに御異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議長(小野林治三夫君) 御異議なしと認め、日程第6議案第1号平成30年度泉北水道企業団水道事業会計予算につきましては、原案通り可決することに決定いたしました。

次に日程第7議案第2号監査委員の選任についてを議題といたします。理事者より提案説明を願います。

○企業長(辻宏康君) ただいま、御上程いただきました、議案第2号監査委員の選任につきまして、提案理由の御説明を申し上げます。

現在、当企業団の監査委員を務めていただいております原口裕見監査委員は平成26年5月に就任以来4年間に亘り、当企業団発展にご尽力を賜り、その任務を立派に遂行され、来る4月30日をもって任期満了となります。

つきましては、引き続き当企業団の監査委員として原口裕見氏を選任いたしたく、お願いする次第でございます。

よって、地方公営企業法第39条の2第5項及び当企業団規約第10条第2項の規定により、議会の同意を得たくここに提案申し上げた次第でございます。

どうかよろしくお願いいたします。

○議長(小野林治三夫君) 提案説明が終わりました。ここで地方自治法第117条の規定により、原口裕見氏の除斥を求めることにいたします。

(原口氏除斥する)

○議長(小野林治三夫君) お諮りいたします。本件につきましては、原案どおり同意することに御異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議長(小野林治三夫君) 異議なしと認め、日程第7議案第2号監査委員の選任につきましては、原案どおり同意することに決定いたしました。

原口氏の除斥を解きます。

(原口氏復席する)

○議長(小野林治三夫君) 以上をもちまして、すべての議案審議が終了い

たしました。

慎重御審議ありがとうございました。

閉会に先立ちまして、企業長より挨拶の申し出がございますので、これを許可いたします。

○企業長（辻宏康君） 本日、議員皆様におかれましては御出席を賜り慎重御審議をいただきまして誠にありがとうございます。

また、ただいまは、それぞれの議案につきまして、原案どおり御可決御承認をいただき重ねてお礼を申し上げます。

最後に、議員皆様方におかれましては、これから母市の予算議会等もあろうかと思えます。寒さ厳しき折でございますので、くれぐれも健康に御留意をされまして、市政の運営に御尽力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。閉会にあたりましての挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

○議長（小野林治三夫君） 企業長の挨拶が終わりました。

以上をもちまして平成30年泉北水道企業団議会第1回定例会を閉会いたします。

慎重御審議いただきまして、ありがとうございました。

————— 閉 会 —————

平成30年2月6日 午前10時24分 閉会

会議のてんまつを記載し、その相違ないことを証するためにここに署名する。

泉北水道企業団議会議長 **小野林 浩三夫**

泉北水道企業団議会議員 **山 敷 恵**

泉北水道企業団議会議員 **木 戸 晃**